

「STD マイコプラズマ同定」 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、標記項目につきまして検査委託先より現行試薬の販売中止に伴う検査内容変更の連絡がございましたので、取り急ぎご案内する次第です。

誠に突然のことであり、先生方にはご迷惑をお掛けすると存じますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■対象項目/変更内容

頁	項目コード	検査項目名	変更内容	新	旧
126	6972	STD マイコプラズマ同定《初尿》	検査項目名	STD マイコプラズマ核酸同定《初尿》 STD マイコプラズマ核酸同定《生殖器》 STD マイコプラズマ核酸同定《咽頭》	STD マイコプラズマ同定《初尿》 STD マイコプラズマ同定《生殖器》 STD マイコプラズマ同定《咽頭》
	8536	STD マイコプラズマ同定《生殖器》	検体量 / 容器	初尿 2mL * ^{1,2} [容器番号:100] または ぬぐい液 * ^{1,2,3} [容器番号:101]	初尿 8mL[容器番号:55] または ぬぐい液 [容器番号:57]
			検査方法	リアルタイム PCR 法	PCR 法/インベーター法
	8542	STD マイコプラズマ同定《咽頭》	所要日数	3～5 日	4～6 日
			備考	*1: 専用容器は、あらかじめご依頼ください。 *2: <u>必ず専用検体としてご提出ください。</u> *3: 咽頭材料は参考値報告になります。	

※その他の検査要項に変更はございません。

※変更後の詳細は裏面をご確認ください。

■変更期日

●2023年1月31日(火)受付日分より

以上

STD マイコプラズマ核酸同定

非クラミジア性非淋菌性の性感染症の原因とされるマイコプラズマ属(ジェニタリウム、ホミニス)およびウレアプラズマ属(ウレアリチカム、パルバム)を検出します。

男性尿道炎の37%は非クラミジア性非淋菌性であり、マイコプラズマ・ジェニタリウム(*Mycoplasma genitalium*)が最も高頻度に検出され、次いでウレアプラズマ・ウレアリチカム(*Ureaplasma urealyticum*)が検出されると報告されています。*M. genitalium*は男性の尿道に対する病原性が明らかにされており、薬剤耐性化が世界的に問題になっています。*U. urealyticum*は淋菌性尿道炎およびクラミジア性尿道炎患者での重複感染が多く、男性不妊症との関連も研究が進められています。マイコプラズマ・ホミニス(*Mycoplasma hominis*)、ウレアプラズマ・パルバム(*Ureaplasma parvum*)は尿道炎症例で検出されることがありますが、尿道炎の原因であることは明らかにされていません。

女性では *M. genitalium* 感染が子宮頸管炎、骨盤内炎症性疾患、早産、自然流産との関連が高いことが示されています。*U. urealyticum*、*U. parvum*、*M. hominis* は細菌性膣炎や骨盤内感染症との関連や不妊、早産、流産との関連を示唆する報告があります。

本検査は、リアルタイム PCR 法により泌尿器系材料からマイコプラズマ属およびウレアプラズマ属の菌の検出が可能で、性感染症の原因究明・治療方法の研究に有用と考えられます。

■検査要項

項目コード・検査項目名	[6972] STD マイコプラズマ核酸同定《初尿》 [8536] STD マイコプラズマ核酸同定《生殖器》 [8542] STD マイコプラズマ核酸同定《咽頭》
検体量 / 容器	初尿 2mL *1,2 [容器番号:100] または ぬぐい液 *1,2,3 [容器番号:101]
保存方法	冷蔵
検査方法	リアルタイム PCR 法
基準値	<i>M. genitalium</i> 検出せず <i>M. hominis</i> 検出せず <i>U. parvum</i> 検出せず <i>U. urealyticum</i> 検出せず
報告様式	検出せず/陽性/判定不能
所要日数	3~5日
検査実施料	未収載
備考	*1:専用容器は、あらかじめご依頼ください。 *2:必ず専用検体としてご提出ください。 *3:咽頭材料は参考値報告になります。
検査委託先	LSI メディエンス (→1)